

事務事業名	家庭雑排水収集事業				担当	市民生活部 環境課 清掃係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			増補版施策名			
施策名	5	良好な生活環境の保全			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和50 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	4. 衛生費	2. 清掃費	2. 塵芥処理費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	生活排水を宅地内に浸透枘を掘って排水している家庭からの依頼に対し、吸引車にて浸透枘に溜まった生活雑排水を収集し運搬処分する事業である。生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るために、市単独事業で実施し、シルバー人材センターに汲み取り業務を委託している。生活雑排水の収集から処分までの料金は、吸込枘収集車1台（1,500リットル）6,180円、分離槽1リットル当たり4.12円。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 汲み取り申込受付事務 汲み取り手数料賦課徴収事務 31年度計画 ・前年度と同様		⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 業務受付件数	件	59	63	65	45	50
		イ 収集台数	台	101	100	111	89	95
		ウ 手数料徴収額	円	639,400	646,800	685,980	558,660	587,100
		エ						
		オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 生活雑排水の汲み取りを希望する世帯		⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 汲取申込世帯数	件	59	63	65	45	50
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 家庭から生活雑排水の溢れを防止し、快適な生活環境を作る。		⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 汲取世帯数	件	59	63	65	45	50
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④ 結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 生活環境の保全及び公衆衛生の向上。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
		名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
		ア 生活排水の適正処理により、環境衛生の保全が図られる世帯数	件	59	63	65	45	50
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	1,158	992	847	708	891
	一般財源	千円	0	164	228	316	216	
	事業費計(A)	千円	1,158	1,156	1,075	1,024	1,107	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	156	156	156	156	156
		人件費計(B)	千円	654	648	647	650	650
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,812	1,804	1,722	1,674	1,757	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	浸透枘が機能しなくなり、生活雑排水処理に困っている世帯があるため、昭和50年度に生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため事業を実施
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成17年度より、市直営だった汲み取り業務をシルバー人材センターに委託した。 市街化区域の下水道未整備地区からの依頼が多く、下水道整備の進捗及び合併浄化槽の推進に伴い減少傾向にある。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	